



# すべての人が暮らしやすいまちを目指して

## 田原人権ファンクション委員会の活動報告

田原人権ファンクション委員会は、市民を中心に組織され、文部科学省から委託を受けた「人権教育推進のための調査研究事業」に取り組んできた団体です。今回は、副会長の小林さんから、障害者の人権教育を推進するために、2年間取り組んできた活動報告が届けましたので紹介します。

### 活動内容

委員会は、障害児の保護者や田原市手をつなぐ育成会、障害福祉事業所と田原市教育委員会などに所属する14名で構成しています。私たちの活動は、障害者の人権教育に役立つ教材として絵本を作り、その絵本の読み聞かせを通して人権教育を推進することです。

これまでに、障害者の人権をテーマにした2冊の絵本と、障害についてのリーフレットを作成し、市内の公共施設などに配布しました。絵本のストーリーは、委員会メンバーが、障害のあるお子さんの保護者の方などからお話を伺い、その体験談を基に考えたものです。物語には、たくさんの方の思いがこめられ、皆さんのおかげで心温まる絵本になりました。

また、講演会を2回開催したところ、多くの市民の皆さんが足を運んでくださいました。講演会の演題のように、障害のある人もない人も、「すべての人が暮らしやすい」「すべての人がきらりと生きられる」そんなまちになることが私たちの願いです。



絵本のお話を作るためのヒアリング



平成20年度の講演会



スクリーンに映しての読み聞かせ



絵本「じんけん2」

- ぼくのペースで行かせてね
- 逆転(停電/手話通訳/勝利の女神)

※2つのお話です。`逆転`は3つのエピソードに分かれています。



絵本「じんけん」

- これってNIPPON?
- ある日魔法にかけられた
- 四つ葉のクローバー

※3つのお話が収められています。

絵本は市内の図書館、小中学校、保育園などでご覧いただけます。また、スクリーンに映して読み聞かせをしたいという方には、貸し出し用のCDもご用意できますので、生涯学習課(☎23局3531)へお問い合わせください。

※絵本は市内の図書館で借りることができます。販売はしていません。